

【応募作品の概要・要旨など】 *A4 用紙 1 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

作品の名称	誤嚥にご縁がなくなるコップ「ノミホス」
対象者の領域	身体障害（○）、精神障害（ ）、発達障害（ ）、高齢者（○）、その他（ ）
自助具の分類	食事動作（○）、整容動作（ ）、更衣動作（ ）、排泄動作（ ）、入浴動作（ ）、コミュニケーション（ ）、趣味・余暇活動（ ）その他（ リハビリ活動時 ）
用具の種類	工夫・改良品（ ）、個別製作品（○） ※ <u>工夫・改良品</u> 市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、 <u>個別製作品</u> アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする
応募作品の概要	<p>【作品の目的】 誤嚥を予防しつつ、コップ内の飲料を飲み干す。</p> <p>【特徴・利点・新規性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本作品は、飲水時に頭頸部を後屈させず飲み干すことが可能なコップである。 ・内側を円錐形にしたことで、通常のコップより傾けずに飲料を流し込める。 ・衛生面を考慮し、洗浄や水切りのしやすさについても工夫。 ・金型作製で大量生産が可能。安価に提供でき、施設でも消耗品として扱いやすい。 ・プラスチック製により軽量で手軽、積み重ね可能な構造。 ・他製品で、本体そのものが傾斜しているコップは販売されている。しかし比較的高価格で値ごろ感に欠けるうえ、収納にも難があると言える。 ・飲み残し、ストローごみなどの無駄なコストが減少する。 ・しっかり飲み干せた方が、対象者の満足感を得られる。 <p>【作製の経緯】</p> <p>本作品は某高齢者向け施設での実習経験を基に考案した。当施設ではリハビリ室での水分補給時、コップに飲料を多めに注ぐことで誤嚥予防としていたが、自分なりに何か他に妙案は無いかと模索した結果が、本作である。</p>
工夫したポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜を作るために、コップの中を円錐形にした。 ・高齢者施設で常用することを想定。洗浄できない部分が無いような形状を目指した。 ・洗浄後、裏側に水が溜まらないよう吐水口を設けた。 ・収納時のことを考慮し、コップ同士を重ねられるような形状にした。 ・手軽に使えるよう安価で提供すべく、射出成形が可能な形状を目指した（現在改良中） ・以上を 3D プリンターでモデル作成できるような形状にした。
利用上の留意点	コップだけを傾けて飲水するよう心がけること。

作製の準備

- ・作製方法……3D プリンターによる作製。
 - ・材質……プラスチック。
- ※将来的に対象者および施設への販売を想定している。

1. 作品の外観

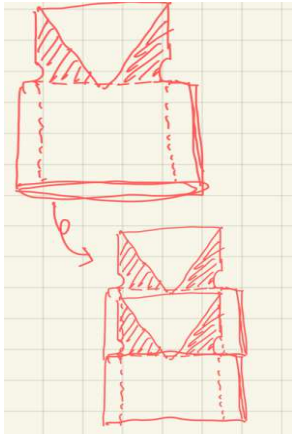


外観（斜め上方から）

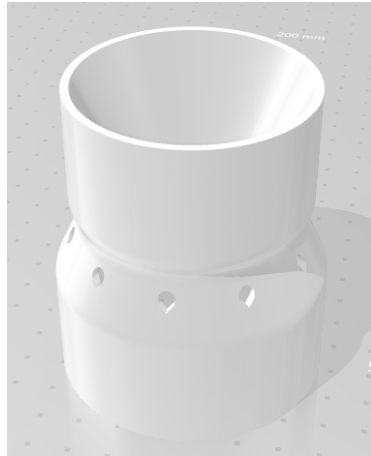


外観（底面）

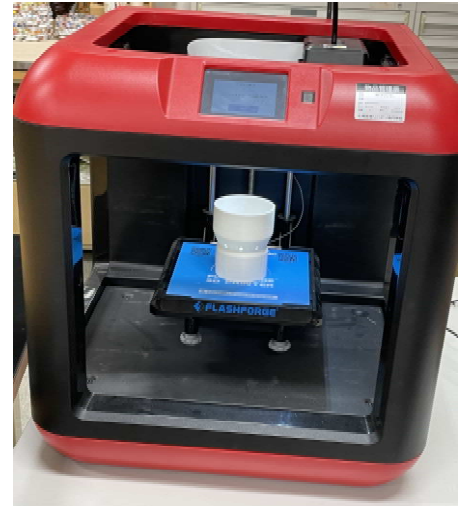
2. 作り方・製作過程



図案作製
(図は積み重ねイメージ)



CAD で 3D モデルを作製



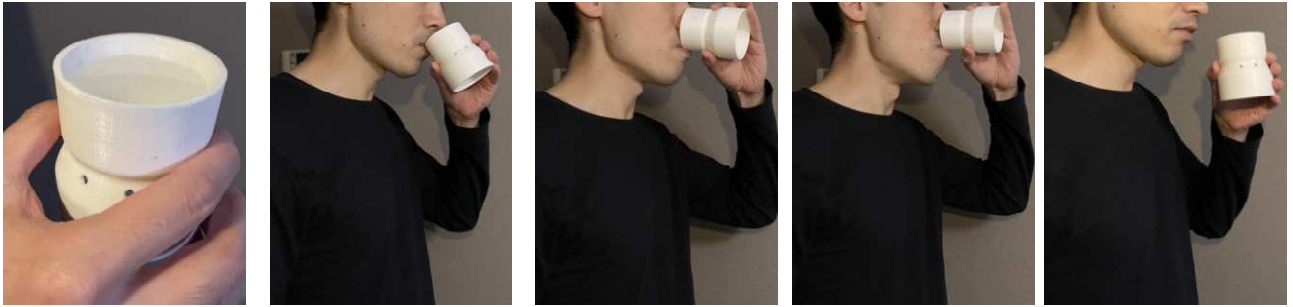
3D プリンターで印刷
印刷完了まで 4 時間 30 分

応募作品の特徴

3. 活用場面

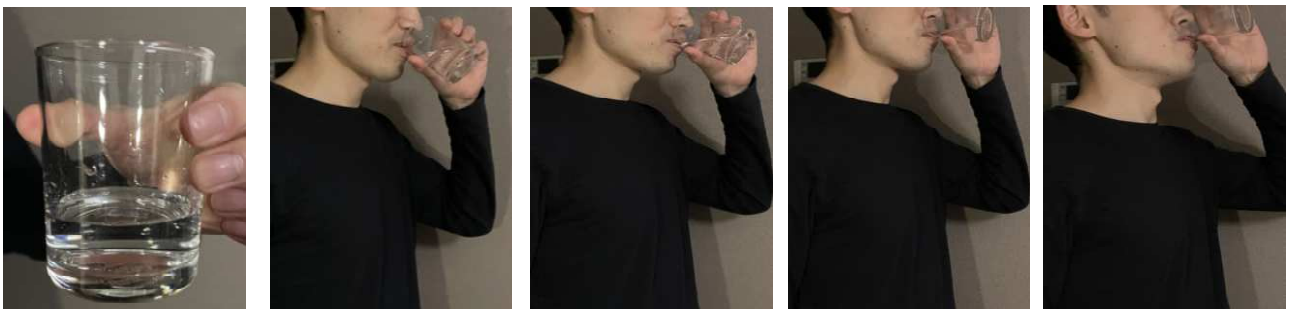
実際にノミホスと普通のコップとで、水を飲み干すまでの角度を比較する。

【ノミホス】



- ① 給水 ②口を付ける ③コップのみ傾け ④ここで飲み干す ⑤後傾なし

【普通のコップ】



- ① 給水 ②口を付ける ③コップのみ傾け ④90°で残留あり ⑤後傾

以上。

応募作品の特徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ()、対象者に同意を得ていない ()、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。